

社会医療法人財団董仙会 介護老人保健施設 和光苑

贈呈
理由

環境省の補助金を活用したヒートポンプ給湯システム導入により、省エネルギー・環境負荷低減を実現

石川県
七尾市

ヒートポンプ給湯



社会医療法人財団董仙会 介護老人保健施設 和光苑

地域社会から選んでいただける 質の高いサービスを提供

社会医療法人財団董仙会は、1967（昭和42）年に設立され、恵寿総合病院を核として能登地域を中心に事業展開を行う医療・介護・福祉・保健の複合体である。

和光苑は、1989（平成元）年に県内初の介護施設として開設され、リハビリなどで自立を支援し、家庭への復帰を目指すとともに、サービス工学に基づいたAI技術を用いて新しい介護を実践している。

「その人らしい生活を支える・介護予防から入所まで」の基本方針に沿い、人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の

健康維持（予防、診療、リハビリテーション、介護）に努めるとともに、地域の中核介護施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献している。

和光苑は、開設から30年以上が経過し、給湯用温水ボイラの経年劣化による効率低下と燃料費の高騰、修繕費の負担によるランニングコストの増加が施設運営の課題になっていた。

環境性・経済性に優れた 福祉施設を目指して

この課題を解決するために和光苑では、給湯設備の更新を計画。環境省補助事業「2019年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（民間建築物等の省CO₂改修支援事業）」の採択



社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院

を受けたことが、給湯設備更新の決め手となった。

業務用エコキュートで貯湯を行い、業務用ヒートポンプ給湯機で浴槽と貯湯槽の循環保温を行う、高効率給湯システムを構築した。貯湯運転には割安な夜間電力を利用でき、最大電力も抑制された。設備の更新前と比較すると、一次エネルギー消費量で35%、CO₂排出量で42%の削減を達成した。今後も経済性を確保しながら省エネルギーに取り組み、環境保全に努めていく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム 温水ボイラ
一次エネルギー消費量：2,006GJ

採用システム 業務用エコキュート＋
業務用ヒートポンプ給湯機
一次エネルギー消費量：
1,300GJ

従来システム 採用システム **-35%**

（諸元）同一負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気（全日）9.76MJ/kWh ※A重油 39.1/MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施工規則」



業務用エコキュートと貯湯槽



業務用ヒートポンプ給湯機

介護老人保健施設 和光苑

所在地：石川県七尾市津町107
設備設計：菱機工業㈱
設備施工：菱機工業㈱
延床面積：5,421.35㎡
竣工：2019年更新

■設備概要

業務用エコキュート30kW×6台〔三菱重工業〕
貯湯槽30㎡
業務用ヒートポンプ給湯機40kW×3台
〔三菱重工業〕